第１３８回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２９年１月１０日提出）

１．題　目：　オンライン FD『著作権入門～基礎編～』

２．日　時：　平成２８年１１月１日～平成２８年１２月３１日　（第１期）

３．場　所：　主体的学習促進支援システム（LACS）でのｅラーニング

４．主　催：　ＩＣＴ基盤センター

５．対　象：　教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
教育現場における ICT 利活用が広がるにつれ、教育を目的とした利用であっても従来通りに著作物を利用できないケースが発生している。本学でも LACS が普及する中、著作権法に違反しないためにも著作権に対する正しい理解が必要となってきている。本オンライン FD は、著作権に関する基礎的な知識について e ラーニングを利用して学習することで、基礎知識を高めていただくことを目的としている。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
LACS 上のコミュニティ一覧から「★長崎大学オンライン FD『著作権入門～基礎編～』」を選択して受講。（所要時間：90 分程度）

９．参加者：　５７　名（受講証明書発行対象者：５７名）

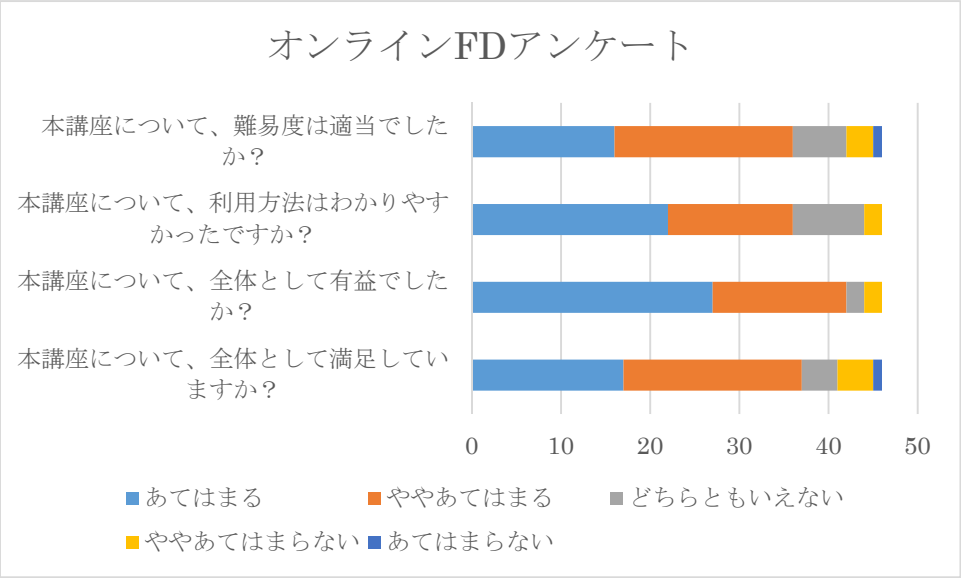
（内訳）

所　　属	人　　数
医学部	2
医歯薬学総合研究科	１９
学生支援部教育支援課	1
経済学部	2
原爆後障害医療研究所	１３
工学研究科	4
国際教育リエゾン機構	1
産学官連携戦略本部	1
水産・環境科学総合研究科	3
先導生命科学研究支援センター	2
多文化社会学部	1
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	1
熱帯医学研究所	1
病院	6
計	５７

※　別紙に参加者名簿添付。

１０．実施したＦＤの成果等

1.　　参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



主な意見

基本的な知識の整理に役立った。

基本的なところから学校現場における注意点まで簡単に説明がされており、分かりやすかった。

オンラインFDという試み自体はとても良いと思うので、続けて欲しい。

2.　　総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

アンケート結果によると，大変有益であったという回答が多かった。

著作権に対する関心が高く、e ラーニングによる FD という試みであるが参加者から好評であった。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：ＩＣＴ基盤センター

職　名：センター長　　氏　名：村田　嘉弘

e-mail：ymurata@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：(経) ３４３

１２．申請者の連絡先

部　局：ＩＣＴ基盤センター

職　名：准教授　　氏　名：古賀　掲維

e-mail：amnesia@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２０９７

第１３８回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２９年３月３１日提出）

１．題　目：　第１回 長崎大学オンライン FD『著作権入門～基礎編～』のご案内

２．日　時：　平成２９年１月１日～平成２９年３月３１日（第２期）

３．場　所：　主体的学習促進支援システム（LACS）での e ラーニング

４．主　催：　ＩＣＴ基盤センター

５．対　象：　教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
教育現場における ICT 利活用が広がるにつれ、教育を目的とした利用であっても従来通りに著作物を利用できないケースが発生している。本学でも LACS が普及する中、著作権法に違反しないためにも著作権に対する正しい理解が必要となってきている。本オンライン FD は、著作権に関する基礎的な知識について e ラーニングを利用して学習することで、基礎知識を高めていただくことを目的としている。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
LACS 上のコミュニティ一覧から「★長崎大学オンライン FD『著作権入門～基礎編～』」を選択して受講。（所要時間：90 分程度）

９．参加者：　７４　名（受講証明書発行対象者：７４名）

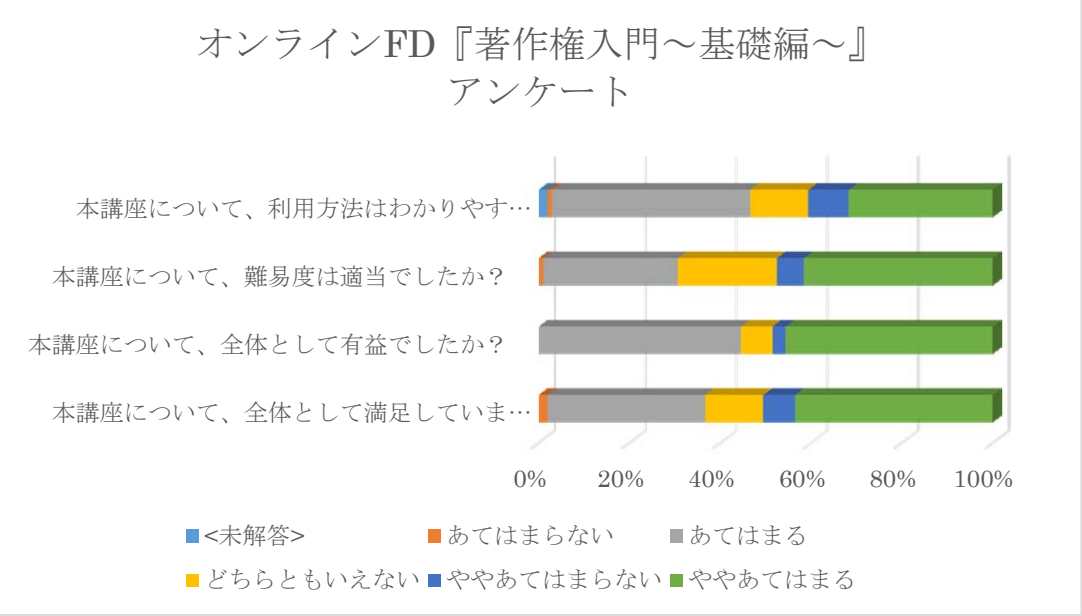
（内訳）

所　　属	人　　数
ＩＣＴ基盤センター	3
医歯薬学総合研究科	17
学術情報部学術情報管理課	3
学術情報部情報企画課	1
教育学部	4
経済学部	2
経済学部支援課	1
原子力災害対策戦略本部	1
原爆後障害医療研究所	4
言語教育研究センター	1
工学研究科	5
国際教育リエゾン機構	1
産学官連携戦略本部	5
水産・環境科学総合研究科	7
熱帯医学研究所	13
病院	5
文教地区事務部総務課	1
計	74

※　別紙に参加者名簿添付。

１０．実施したＦＤの成果等

1.　　参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



主な意見

音声ガイドは聞き取りにくかった。

授業で使う教材と著作権の関連はいつも気になっている点ですが、このような教材があり有益でした。助かります。

教員が教育使用する資料に関する具体例がもっとあった方が良い。

2.　　総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

アンケート結果によると，大変有益であったという回答が多かった。

著作権に対する関心が高く、e ラーニングによる FD という試みであるが参加者から好評であった。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：ＩＣＴ基盤センター

職　名：センター長　　氏　名：村田　嘉弘

e-mail：ymurata@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：（経）３４３

１２．申請者の連絡先

部　局：ＩＣＴ基盤センター

職　名：准教授　　氏　名：古賀　掲維

e-mail：amnesia@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２０９７